

MA台本（編集稿）

平成29年12月5日

にっぽん農紀行

ふるさとに生きる

未来に繋ぐ人々の想い

愛知県編

提出：ブラザーフッド

○名古屋城ロング	00:06	N 愛知県、名古屋市。
○名古屋城	00:10	N 尾張名古屋は城でもつ。 かつて、民謡で歌われたように 城下町として発展してきました。
○名古屋の街俯瞰ロング 工業地帯の雰囲気	00:20	N そして、中京工業地帯の中心。 繊維産業から自動車、重化学工業 まで、幅広い分野で、日本の発展を 支える場所。
○八丁味噌商品カット	00:35	N 愛知の名物として、 誰もが知っている、八丁味噌。
	00:42	N 濃厚で芳醇な味わいは、 多くの人々を楽しませています。
○岡崎城	00:49	N その名の由来は、 かの徳川家康の居城として名高い 岡崎城から西へ八丁。
○八丁味噌通り	00:58	N およそ870メートルの距離にある 町で作られる味噌、 ということだそう。
○まるや八丁味噌 外観	01:10	N 今も大豆の旨みを逃さない 天然醸造による味噌作りが 行われています。
○大豆菌	01:19	N 蒸した大豆に麹菌を混ぜて作られた 大豆菌。

<p>○水と混ぜ出てくる大豆菌</p> <p>○木桶の部屋に運ばれる</p>	<p>01:28</p>	<p>N これに、塩と水を混ぜ合わせ、高さ23はある木桶に漬け込んで作られます。</p>
<p>○木桶に入った職人が均一に踏みつける様子</p>	<p>01:42</p>	<p>N 木桶の中に職人が入り、均一に足で踏みつけ、余分な空気を丹念に抜いてゆきます。</p>
<p>○一杯になった木桶</p> <p>○工場の片隅で乾かされる石</p>	<p>01:54</p>	<p>N そして、木桶が味噌で一杯になると登場するのが、工場のそこかしこに置かれたこの石。</p>
<p>○石のパンアップ</p>	<p>02:05</p>	<p>N これを重石に二夏二冬、つまり2年間じっくり漬け込むのです。</p>
<p>○石を積む石積職人</p>	<p>02:14</p>	<p>N この作業を担うのが、石積職人と呼ばれる人々。</p>
<p>○作業の様子</p>	<p>02:22</p>	<p>N 乗せる」と、積む」とでは大きな違いがあります。</p>
<p>○石の顔を見ながら積み替える職人</p>	<p>02:29</p>	<p>N 崩れないよう、石の顔を見ながら幾度も石の向きを調整する。</p>
<p>○職人インタビュー</p>	<p>02:47</p>	<p>N 修行を重ねた石積職人は、先人が残したこの技法を引き継ぎ、一つ一つ石を積んでゆきます。</p>
<p>「一人で石を積めるようになるまで7年。さらに安定して積めるようになるのは1</p>		

○石積みされた味噌桶	03:30	<p>0年くらいです。」</p> <p>足元に味噌が、熟成する前のものがある。足元から感じる味噌の出来加減というか、この工程までちゃんと仕上がっているという加減が足元から伝わってくる。昔からの伝統製法、それが問題なく続いているから、安定した八丁味噌が仕上がっていると思います」</p>
○岡崎城	03:37	<p>N 2年間、という長い眠りにつく八丁味噌。</p> <p>N 積まれた石のその姿は、まるで岡崎城に積まれた石垣のよう。</p>
○岡崎城の石垣	03:45	<p>N 徳川家康の時代から、郷土で愛され受け継がれてきたふるさとの味。</p> <p>これからも、その歴史は、</p> <p>一つ一つ積み重なってゆくのです。</p>
○味噌桶の石	04:01	<p>昔からの伝統製法。常に追いかけてくやいけないものかな？と思いつながら積んでいます。」</p>
○職人インタビュー	04:12	<p>N 熱田神宮。</p> <p>ここにも積み重なる歴史の跡が残されています。</p>
○熱田神宮	04:22	<p>N これは、桶狭間の戦いの必勝祈願として、あの織田信長が寄贈したものです。</p>
○信長壁		

<p>○抽象的な緑などちよつとした歴史観</p>	<p>04:34</p>	<p>N 愛知県は、天下統一へ導いた戦国時代の三英傑、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を排出した土地。</p>
<p>○二十五丁橋</p>	<p>04:50</p>	<p>N 愛知県最古のこの石橋のように現代日本の礎を築いた偉人が未来へとつないだ想い。</p>
<p>○抽象的に捉えた名古屋城</p>	<p>05:01</p>	<p>N そうした想いが今も人々の中に溢れる場所。それが愛知県なのです。</p>
<p>○名古屋城ロングにメインタイトル にっぽん農紀行 ふるさとに生きる 未来へ繋ぐ人々の想い 「愛知県編」</p>		
<p>○碧南市文化会館 外観</p>	<p>05:17</p>	<p>N 愛知県の中南部に位置する碧南市。</p>
<p>○挨拶</p>	<p>05:23</p>	<p>それでは只今より、全国にんじんサミットイン碧南の開催を宣言いたします。」</p>
<p>○話す人</p>	<p>05:32</p>	<p>N この日行われていたのは、にんじん作りに携わる人々を一堂に集めた全国にんじんサミット。</p>